

# 進捗報告書（実行団体）

事業名:	親子の居場所・学び場としての絵本館の運営事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人北海道NPOファンド
実行団体名:	一般社団法人北海道ブックシェアリング
実施時期:	2020年10月～2021年9月
事業対象地域:	道央圏＝札幌市・江別市・当別町・石狩市・北広島市等
事業対象者:	週末を安心して過ごすことを希望する親子。学びや育みの不安の解消を求める親子。

Version 1.0

日付: 2021年3月31日

## I. 事業概要

<b>事業概要</b>
本会が運営する「北海道学校図書館づくりサポートセンター」（江別市、蔵書約3000冊）を、月に4回（毎月第1、第3土日）、「親子のための絵本館」として無料開放し、居場所として利用してもらうほか、それぞれの分野の専門家による絵本セミナー、手づくりワークショップ、絵本セラピー、学びの教室などの無料講座を開き、くつろぎと育みと学びの機会を創出する。利用は予約制で、ソーシャルディスタンスの確保と、プライバシーの観点から、一日最大12人までとする。また、社会福祉や大学連携、若者の交流、児童クラブなどの機関を持つ大森銀座商店街というロケーションと連携を活かし、暮らしのバックアップにつなげていく。

## II. 進捗報告の概要

<b>総括</b>
札幌圏において新型コロナウイルスの感染が沈静化せず、かつ変異株への感染者増が顕著になるなか、本事業は地域における暮らしの安心安全に寄与するという当初の目的を一定程度、果たしていると判断している。また、自粛生活の長期化による「心情の不安定」や「学びからの脱落」などに留意しつつ、終了期間まで支援の精度を高める必要性を確認している。本事業は「場」と「本」の提供であり、精神状態や家庭環境に踏み込むことは想定していなかったが、地域の包括支援センターや社会福祉協議会等と連携を図り、細やかな対応につなげていきたいと考えている。コロナの感染拡大の状況から、イベントやワークショップを組むことは難しかったが、イベント「絵本総選挙」は好評を得たので、感染対策に注意を払いながらイベント事業を積極的に展開していきたい。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
居場所や育み・学びの必要性を感じる親子、延べ500人に対して、適切な場と時間を提供する。同時にニーズに耳を傾けながら、新型コロナ時代における図書施設の新たな役割として、「居場所づくり」「連携づくり」「情報収集」などの事業体制を構築する。	半期での来館来場は、171名だった。延べ500人、半期で250人の想定を下回ったのはイベント、ワークショップが開けなかったことによる。適切な本のラインナップや読書アドバイスなどは的確に行っていると判断する。また換気や手洗いなどにも十分に注意できたと判断している。一方で、札幌での新型コロナ感染拡大が止まらないため、スタッフは緊張を強いられながらの運営となった。現在のところ、行政からの休業や時間短縮の要請は着いていないが、今後の感染拡大の状況によっては適切な動きとアナウンスが求められるものと考えている。

活動	進捗状況	概要
施設整備	計画通り	図書の整備（約2500冊）、手洗い場の増設、除菌スプレーの設置など、施設の整備は予定通り。運営前後の清掃や定期的な換気、イスやテーブルの拭き取りなども予定通り。
アナウンス	ほぼ計画通り	地域への案内チラシの各戸配布でのアナウンスは、3万世帯を想定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、規模を縮小して約16000世帯に対して実施。
開館	ほぼ計画通り	開館はほぼ計画通り実施できたが、イベントやワークショップがほぼ実施できなかった。また、土曜の利用の少なさが予定外であり、下半期の課題となった。
連携	ほぼ計画通り	第2派～第3派と本会も社会情勢に振り回されながらの運営だったが、他の団体も同様で「北海道えほんの森」（広報協力。講座企画の立案協力・講師派遣）とはほぼ接触できなかった。「3. 11 SAPPORO SYMPO」とは広報・アナウンスで連携できた。「まちライブラリー」はコロナ過で閉館となり接触できなかった。「NPO法人みなと計画」「大森銀座商店街振興組合」とはイベントの実施や情報共有で大きく連携した。

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>イベントやワークショップのような時限的なものと違い、「場」と「本」との利用機会の提供が本事業終了とともに途絶しても良いものか、悩ましく思う。終了の3カ月ぐらい前から「事業が終了する9月以降は、もうきちゃダメだよ」と利用者に告げていくのは支援組織としていかなものかと感じる。その時期に新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進み、集団免疫を獲得できているのならまだしも、普段どおりの生活に戻れるのは年明け以降、あるいはもっと先のことと思われる。いまから事業終了以降のあり方を検討しなければならないと感じている。</p>	

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥1,700,000	¥0	¥1,700,000	¥1,470,021	86%
	管理的経費	¥300,000	¥0	¥300,000	¥203,138	68%
合計		¥2,000,000	¥0	¥2,000,000	¥1,673,159	84%
補足説明		<p>口座からの支出方法が良くわからなかったため                      ①半期分の通信費・光熱費の按分費用を支出していない                      ②半期分の郵送費を支出していない。</p>				

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>新型コロナウイルス感染について、慎重派と楽観派がいるとは思っていたが、度の過ぎた心配派と度の過ぎた軽視派がこれほど多いとは思わなかった。説明しても通じない。大声で怒り出す（本来、これが一番感染リスクが高い）など、反応もさまざまである。「それでもこの地区は良いほうだ」と住民が言うことから、他のNPOの苦勞が俵ばれる。対応としてはなるべく穏便に説明していくしかない。</p>

#### VII. その他

自由記述

#### VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	江別市公式観光情報サイト <a href="https://www.ebetsu-kanko.jp/archives/event_info/7082.html">https://www.ebetsu-kanko.jp/archives/event_info/7082.html</a>
広報制作物等	有	チラシ・ポスター
報告書等	有	親子の居場所・学び場としての絵本館の運営事業実施記録

## IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。	はい	